



発行
〒850-0013 長崎市中央2丁目2番5号
長崎高教組会館 長崎県高等学校教職員組合
☎ (095)-827-5882
FAX (095)-826-2976
編集責任者 平井秀治
一部 10円

高教組メールアドレス
naga-kks@fs
inet.or.jp



日高教の定期中央委員会が9月10日、11日、東京で開催され、長崎高教組から平井委員長が出席。委員長は二点について討論に参加しました。

主幹・指導教諭導入道理なし

一つは、県教委が主幹・指導教諭の導入を一方的に決定し、職場から多くの疑問や不当性を追及する声が出されていること。これらの声は、導入の凍結や特2級の給与表は不要とする署名に表れていること。

あと33人は不可能ではない

二つに、組織の強化、拡大に関わって、あと33人の加入が実現すると昨年度の実勢に達すること。拡大を、秋の賃金確定などのとりくみと結合させて、各職場で対話行動を重視してとりくみ、何としても成功させたいこと。(全国の主な発言は別掲)

この発言に対し、全国から連帯と激励の大きな拍手が寄せられました。

33人の加入者を迎えることは不可能なことではありません。皆の力を発揮して必ず達成し、職場・学校づくりに欠かせない組織としての私たちの長崎高教組をつくっていきましょう。

日高教中央委員会(9/10,11)で行われた組織活動の強化に関わる分野の発言(要旨)を紹介し、とりくみの参考にしてください。

時を逃さず加入の呼び掛け 話しは軽くやるのが肝要

＊分会活動が弱くなっている。職場に依拠し、たどりくみを追求している。要求が実現するときには論理も大切だが、具体的な資料が有効である。(福島)

＊青年層で加入の声を掛けられていないが80%という調査結果に、改めて「対話」の重要性を認識した。対話は簡単なこと。軽く組合を語るべき。

いま192人に対話して32人の加入、新採も16人加入。あと20人で純増となる。

分会のとりくみをすすめるためパワーアップ交流会を実施している。(青森)

＊目標は高く、ハードルは低く、提起は具体的に

校長ヒヤリングは 詳しく丁寧にする

人事異動で 県教委交渉

高教組は9月15日と8月20日提出)に基づく17日、人事異動の基本方針・実施要領及び意向的に従来の人事作業のあり方に、県教委の回答は基本的に従来通りである。学級の基本的な事項で、それらを軽視するものではないと見られる。果して校長が提案するようなら内容でしようか。疑問とともに、批判が生じているところだ。

なぜ勉強する生徒としない生徒という二極化が生じているのか、経済格差と「学力」格差は長崎において関係があるのかなど、建設的な研究提案を行って欲しいもの。実践力のある優秀な教員の集まりである校長会なので、

交渉の冒頭、県教委が要求書の各項目について口頭で回答した主な内容は次のとおりです。

○「5地区制」「自己推薦制」「2校長による勤務申し出制度」意向調査の記入のしかた等の見直し要求について：引き続き継続したい。

○意向調査の「人事異動等に関する希望意見」欄に、希望する学校等を開けることを周知すること：今年度も校長会で伝える。

○別居単身赴任長時間通勤になる人事を行わないこと：意向調査、校長ヒヤリングをと

り方を継続するという内容でしたが、第4地区の新採用者や「特殊事情説」の扱いなど一部に「明書」の扱いなど一部には、高教組の要求に沿った回答がありました。

＊あと10年もすると引き継がれなくなる事態

＊組合で培ったノウハウがなくなる

＊全国的に実教の削減や賃金抑制などの攻撃もあり、新しい組合員を迎えたい

＊「同一地区15年」「同一校6年」での異動を機械的にこなさず、本人の希望を尊重すること：意向調査、校長とのヒヤリングをとおして作業をすすめる。

○第4地区の新採用者が地区勤務年数までの勤務を希望する場合、その意向を最大限尊重すること：要望については十分理解できる。

○「特殊事情説明書」は希望する教職員はだれでも提出できることを周知すること：希望する人には提出をすすめる、校長が受け取るようお願いしている。今年度の校長会でも再度、このことについて伝える。

○校長の「本人ヒヤリング」は、できるだけ丁寧に

詳しく行うように指導すること：校長がヒヤリングをする際には、できるだけ丁寧に詳しく行うように校長にお願いする。(しかし)法律の規定から、途中経過を話すような行為はしなくてよいと解している。

『有明海の現状』学習講演会
10月23日(土) 14時開会
・高城会館(諫早高校隣り)・参加費無料
・講演「有明海でなぜ大規模な赤潮貧酸素水が起きるのか?」
(堤裕昭熊本県立大教授)
・問い合わせ：坂田輝行さん(高教組 OB)
Tel. 0957/22/6121

これが校長会が行った内容?!

学力向上の提案

①宿題があってもなくても家庭学習「ゼロ」無し宣言②授業中指名されたらまず返事、立って元気な大きな声で③授業中発表するときはまず考え、自分の言葉で言ってみる④これらは「学力向上」にかかれら中高生へ校・特別支援学校の校長会(中島洋会長) 8月2

5日付けで各校に送られ、「校長会がリーダーシップを取り、県内の中高生が「一斉に共通の取り組みを行う」として

さらに、校長会は「提案内容を教室等に掲示する」とともに、「学

10月に入ると具体的な人事作業が始まります。本部と分会が密接に連携をとりながら「希望と納得の人事」の実現をめざしてとりくみすすめます。

主なやりとりは裏面に掲載しています。

校長会作成の
教室掲示用資料

学力向上にかかると 中高生への提案

長崎県の中学生・高校生は、学力向上の目的「3つの約束」をします!

- 長崎っ子の約束 1 宿題があってもなくても 家庭学習「ゼロ」無し宣言
- 長崎っ子の約束 2 授業中指名されたら 必ず返事、立って元気に大きな声で
- 長崎っ子の約束 3 発表するときは 必ず考え、自分の言葉で言ってみる

①②③の三項目は確かな校長会なので、

校長会なので、

校長会なので、

校長会なので、

校長会なので、

